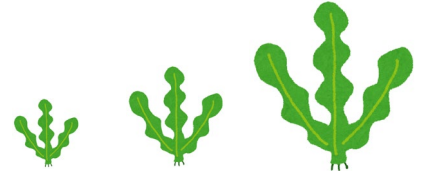


令和3年度 横浜ブルーカーボン・オフセットを実施しました！

横浜市は、海洋資源を活用した温暖化対策プロジェクト「横浜ブルーカーボン」において、横浜市独自のカーボン・オフセット制度を平成26年度から運用しています。これまで、地元の企業・団体の「わかめの地産地消」等によるCO₂削減効果を活用し、排出されるCO₂のカーボン・オフセットを行ってきました。

令和3年度は、この横浜ブルーカーボン・オフセット制度に、新たに3者が参加し、クレジット創出は5者合計 **255.3t-CO₂**、オフセットの実施は10者合計 **166.9t-CO₂**となりました。



令和3年度クレジット創出者（5者）

🚢 ブルーリソースによるクレジット

わかめの地産地消によるCO₂削減事業

- 特定非営利活動法人海辺つくり研究会 **1.1t-CO₂**
- 横浜市漁業協同組合 **7.0t-CO₂**
- 株式会社横浜八景島 **0.3t-CO₂**

認証対象：わかめを市外から搬入せずに市内産を生産・消費することによりCO₂削減に貢献する量

海水ヒートポンプの更新によるCO₂削減事業

- 株式会社横浜八景島 **0.8t-CO₂**

認証対象：年間を通じて温度が安定している海水のエネルギーを活用した先進的なヒートポンプの導入によって得られる省エネ効果によるCO₂削減に貢献する量

環境配慮型の作業船への更新（令和3年度新規）

- 東亜建設工業株式会社 **32.3t-CO₂**

認証対象：港湾工事の大型作業船において、負荷率に応じて発電機数を変更して駆動機（使用燃料：軽油）の発電効率を最適となるよう制御することで、CO₂削減に貢献する量

LNG燃料タグボートへの更新によるCO₂削減事業

- 株式会社新日本海洋社 **152.9t-CO₂**

認証対象：重油よりも燃焼時のCO₂排出量が少ないLNG（液化天然ガス）を燃料とするタグボートを導入することでCO₂削減に貢献する量

ハイブリッドタグボートへの更新によるCO₂削減事業

- 株式会社新日本海洋社 **60.6t-CO₂**

認証対象：重油を燃料とするタグボートにおいて、効率の悪い低出力域を電動モータでアシストすることにより、ディーゼル主機関の重油使用量を減少させることで、CO₂削減に貢献する量

🚢 ブルーカーボンによるクレジット

横浜市域における養殖コンブの温室効果ガスの吸収・固定

- 横浜市漁業協同組合 **0.2t-CO₂**

認証対象：養殖コンブの育成による温室効果ガスの吸収・固定（水揚量による算定）

横浜市域における養殖わかめの温室効果ガスの吸収・固定

- 横浜市漁業協同組合 **0.1t-CO₂**

認証対象：養殖わかめの育成による温室効果ガスの吸収・固定（水揚量による算定）



令和3年度クレジット活用者（10者）

●日清オイリオグループ株式会社

横浜磯子事業場 66.0t-CO₂

算定対象：

- 横浜磯子事業場における、年間のタグボート運行による燃料消費に係る CO₂ 排出量の一部（60.0t-CO₂）
- 横浜磯子事業場の「ウェルネスギャラリー」等で使用する電力から排出される CO₂ 排出量の一部（6.0t-CO₂）

●世界トライアスロンシリーズ横浜大会

組織委員会 34.0t-CO₂

算定対象：2021 世界トライアスロンシリーズ横浜大会の開催に伴う CO₂ 排出量の一部

●株式会社コンフォートジャパン 29.1t-CO₂

算定対象：2020 年 1 月～12 月におけるオンラインショップの商品配送に係る CO₂ 排出量

●株式会社グローバルテクノス 12.0t-CO₂

算定対象：2020 年 7 月～2021 年 6 月の廃棄物処理(プラスチック)に係る CO₂ 排出量の一部

●株式会社横浜フリエスポーツクラブ（横浜 FC）

6.5t-CO₂

算定対象：2021 年 11 月 3 日に開催された「2021 明治安田生命 J1 リーグ第 34 節：横浜 FC VS サガン鳥栖」の来場者 6,424 人の交通移動に伴う CO₂ 排出量の一部

<令和3年度新規>

●株式会社センチュリー工業 10.6t-CO₂

算定対象：2020 年度事業活動（2020 年 7 月 1 日～2021 年 6 月 30 日のガソリン、ガス、水道使用に伴う CO₂ 排出量

●株式会社オガワエコノス 4.0t-CO₂

算定対象：2019 年度の自社バキューム車両の軽油使用に係る CO₂ 排出量の一部

●株式会社パルコスペースシステムズ 1.0t-CO₂

算定対象：2016 年度～2020 年度の店舗における清掃サービス業務の CO₂ 排出量の一部

●株式会社天野さく泉建総 2.7t-CO₂

算定対象：警察学校本館衛生設備改修工事における産業廃棄物の運搬および作業員の移動に係る CO₂ 排出量

●株式会社大川印刷 1.0 t-CO₂

算定対象：令和3年度の印刷事業全体に係る CO₂ 排出量の一部



カーボン・オフセットとは

自らの温室効果ガス排出量を把握し、できるだけ排出量の削減努力を行ったうえで、どうしても削減できない量の全部又は一部を他の場所での排出削減・吸収量（クレジット）で相殺（オフセット）することです。



「横浜ブルーカーボン・オフセット制度」では、ブルーカーボンまたはブルーリソースによる温室効果ガスの吸収量の増大及び排出量の削減を取引可能なクレジットとして認証しオフセットを促進するとともに、その販売代金の活用によって海の環境活動の更なる推進を目指しています。

【横浜ブルーカーボン】

海洋に生息する生き物によって吸収・固定される炭素を「ブルーカーボン」といいます。

『横浜ブルーカーボン』では、「ブルーカーボン」に加え、海洋におけるエネルギー等の利活用を「ブルーリソース」と名付け、これらを一体として温暖化対策に取り組み、さらに、海辺環境の魅力を向上させることで「親しみやすい海づくり」を目指しています。

